



モッテコイ 諏訪小魂！

～ 本物の【あかぎの心】を発揮しよう ～

長崎市立諏訪小学校 校長 山崎 直人

第2学期が終わります

2学期の終業式は積雪のため実施できるか心配でしたが、無事、学期納めができました。通知表は前日に渡していましたが、2学期最後の一日を元気に過ごした子供たちでした。

終業式では、児童代表として2年生の橋本結萌さん、川村栞奈さん、6年生の古澤莉々花さんが2学期の成長と3学期への意欲を語りました。素晴らしい発表でした。私は次のような講話をしました。

【本物の「あ・か・ぎの心」を実感しよう！】というテーマで、この2学期を過ごしてきました。

そのためには、「目標」をもって「計画」を立てて、時々「チェック」して、最後に「振り返り」をして自分の成長を確かめましょう、とお話をしていました。さて、どんな成長ができたでしょう。

一つここで成長を実感してみましよう。

1年生と2年生「いろはうた」の暗唱

3年生と4年生「私と小鳥とすずと」の暗唱

5年生と6年生「枕草子（春・夏）」の暗唱

暗唱に挑戦しに来た人数は199人でした。その中には2回、3回と来た人がいて、合格証を発行した枚数は408枚です。覚えていなかったものを覚えることができた、これは分かりやすい成長の実感ですね。みなさんは、この2学期に大きく成長してきたのです。

もちろん、暗唱以外にもいろんな学習をしてきました。諏訪っ子くんちフェスティバルをはじめ、いろんな行事や活動をしてきました。学級や学年で協力して、いろんな挑戦をして高まってきました。それらの一つ一つが、成長のための時間だったのです。

どうか、2学期を終えるにあたって、自分ができるようになったこと、頑張ったこと、成長したところを確かめてください。

確かめるために一番信用できるのが、昨日、担任の先生から受け取った通知表です。ここにはみなさんの成長の足跡が記録されています。読みましたか。お家の人と一緒に読んで、しっかりと受け止めてくださいね。

さて、明日から冬休みです。暦の関係で3学期の始業式は10日ですから17日間の冬休みです。年末年始ということもあり、家族で過ごすことが多くなるでしょう。そこで、次のような「冬休みのテーマ」を考えました。

「ありがとう」と言おう

「ありがとう」と言われよう

家族みんなが気持ちよく過ごすためには「ありがとう」の言葉が響き合う家庭になることです。

「ありがとう」と言うためには、家族のいいところを探そうとアンテナを張ることです。当たり前の中にこそ、感謝の目を向けなければなりません。

「ありがとう」を言われるためには、家族のためになることをしたり言ったりすることです。お手伝いもそう、家族を楽しませることもいいことです。まずはそう意識することが大切です。

そうして、温かく和やかで幸せな冬休みになることを願っています。

「ありがとう」と言おう

「ありがとう」と言われよう

それでは皆さん、よいお年をお迎えください。

2学期は、諏訪っ子くんちフェスティバルをはじめとする学校行事や教育活動がたくさん行われました。コロナ禍3年目となり、様々な活動が実施できるようになってきたのは喜ばしいことです。行事や活動を通して、大きな成長を見せてくれた諏訪っ子たちです。楽しい冬休みをお過ごしください。

今年もお世話になりました。